

## (2)平成 25 年度事業について（報告事項）

### ■ミニバスに関する事業

- 1) 日野バイパス上のバス停配置の見直し
- 2) 車両代替えに伴う車両の中型化

### ■ワゴンタクシーに関する事業

- 3) 明星ルートの利用啓発チラシの配布

「平成 25 年度事業」について、進捗状況を報告します。

### 1)ミニバス事業：日野バイパス上のバス停配置の見直し

国道 20 号日野バイパス上のバス停配置について、現在の不均等な配置の見直しを図り、必要に応じてバス停を新設または移設することにより、周辺住民の利便性向上を検討して参りました。

ここでバス停の新設と移設の工事が完了し、運行開始日が決定いたしましたので、ご報告いたします。

■新設バス停：第五小学校入口、神明二丁目

■移設バス停：泉塚（豊田駅北口行き）を東へ移設し、反対方向のバス停と位置を近づけます。

■運行開始日：平成 25 年 10 月 13 日（日）始発から

※10 月 1 日号日野市広報でお知らせします。

※市立病院前（日野市役所方向）バス停の新設について…

前回会議でご報告したとおり、地先交渉の結果、今回の見直しでの設置は困難となりました。今後、長期的に取り組んで参ります。



## 2)ミニバス事業:車両代替えに伴う車両の中型化

車両の代替えに伴って中型車両の導入を検討するなか、中型化の際には運行経路の変更が必要となる南平路線のみなみが丘地区にアンケートを配布しました。

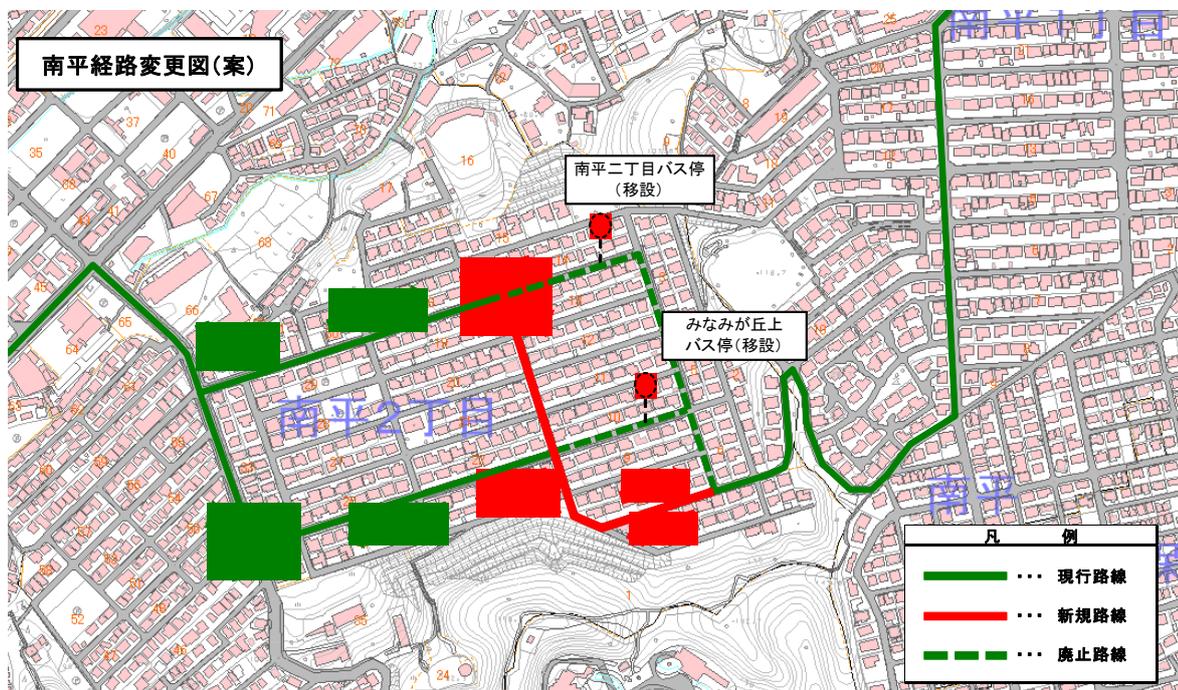
アンケートを今後分析し、再度、みなみが丘自治会へ説明会を開催することを検討しております。

ただし、これまで来年度の車両代替えの際に中型車両導入の目標で進めてきましたが、代替え時期が再来年度となりましたので、中型化導入も再来年度の目標で進めて参ります。

### <これまでの経緯と今後の予定>

| 時期                  | 内容                               |
|---------------------|----------------------------------|
| 平成 25 年 2 月 9 日(土)  | みなみが丘自治会へ説明会開催(午前と午後の 2 回)       |
| 平成 25 年 6 月 12 日(金) | 自治会役員と今後について協議<br>→アンケートを行うことを説明 |
| 平成 25 年 8 月 22 日(木) | アンケートを持参<br>→回収は 10 月下旬とすることを確認  |
| 平成 25 年 10 月下旬      | アンケートの回収、分析                      |
| 平成 26 年             | 2 回目の説明会の開催                      |

### 【経路変更図】



| 路線名称 | 南平路線    |              |
|------|---------|--------------|
| 位置   | 豊田駅方向   | 日野市南平地内 経路変更 |
|      | 高幡不動駅方向 | 日野市南平地内 経路変更 |

### 3)ワゴンタクシー事業：明星ルート利用啓発チラシの配布

＜年度別利用者推移＞

単位：人

| 年度 | 明星ルート  |     | 平山ルート |     | 合計     | 前年比    |
|----|--------|-----|-------|-----|--------|--------|
|    | 年間     | 日平均 | 年間    | 日平均 |        |        |
| 21 | 21,402 | 88  | 6,999 | 29  | 28,401 | —      |
| 22 | 21,726 | 89  | 7,588 | 31  | 29,314 | 103.2% |
| 23 | 20,425 | 84  | 7,987 | 33  | 28,412 | 96.9%  |
| 24 | 18,739 | 76  | 8,974 | 37  | 27,713 | 97.5%  |



平成 23 年 6 月に地域へ向けて利用啓発チラシの配布を行った平山ルートは利用者が増加しています。

しかし、明星ルートは利用者の減少傾向にありましたので、利用啓発のチラシを配布しました。

＜明星ルートの PR チラシの配布＞

- ・平成 25 年 4 月：高幡不動駅地下道のマナーアップキャンペーン
- ・平成 25 年 6 月：明星ルート沿線で丘陵地域の自治会に加入している世帯に全戸配布

明星ルートの平成 25 年度（4 月～8 月）の累計乗車数は、前年度累計に比べ 101%となっており、平成 24 年度と比べて横ばい状態です。今後も利用者数の推移を注視し、必要に応じて啓発等の対策を講じて参ります。